

10月に入り、朝夕はもちろん日中も気温が下がりまして過ごしやすくなりました。休み時間には運動場でサッカーをする児童も増えてきました。

気温の差が体調管理にも影響を与えます。風邪などひかないようにご家庭でもご指導をお願いします。

熱沙祭を終えて

本校の三大大行事である第34回熱沙祭が終了しました。今年は「輝け！笑顔で楽しく仲間と共に」のスローガンのもと、全校児童生徒で創りあげた熱沙祭でした。

開会式では児童生徒会長の飯塚裕貴君が、同じ学年ブロックの仲間と励まし合い、練習に取り組んできた成果をしっかりと発表したいとの挨拶がありました。熱沙祭にかける意気込みを感じました。

また閉会式では児童会長の平田愛さんから児童生徒全員が全力で演じた熱沙祭の感動について素晴らしい閉会の挨拶がありました。

幼稚園音楽劇「スイミー」

今年は開会セレモニーの中で幼稚園の発表があり、園児の皆さんからたくさんの元気をいただきました。

さくら組9人の一生懸命な劇を見て、明るく楽しい熱沙祭のオープニングとなりました。

小学部1・2年生「うらしまたろう」

日本の有名な昔話である「浦島太郎」の話を日本語と英語のセリフという2か国語で演じてくれました。日本人学校ならではの取り組みだったと思います。手作りの小道具や衣装、そろいのTシャツもとても良かったです。



小学部3・4年生「宝は どこだ！」



「宝物って何だろう？どこにあるのだろう？」少し難しい内容かなと思いましたが、打ち出の小槌やタイムマシンを使って探すうちに、宝物は友達なん

だと気が付きました。中学年らしくわかりやすいセリフと動きでとても良かったと思います。フィナーレのダンスもみんな揃っていて動きも大きく良かったです。

小学部5・6年生「ねずみ小僧」



農民たちはみんなで支え合って生活しているが庄屋や殿様が税金をどんどん上げてくるので益々生活が苦しくなっていく。ねずみ小僧はその税金を取り返して農民たちに分け与える。また農民たちの優しさ

と生活の苦しさを知った庄屋は農民のために何とかしようと立ち上がっていく。ねずみ小僧だけが主役でなく、みんなが主役の劇だったと思います。役になりきることで見ているお客さんに訴えるものが多かったと思います。

中学部「合唱祭がなくなる日」



合唱祭に向けて頑張ろうとする意欲が欠けるクラスが、その合唱祭が最後になるかも知れないということで、クラスが段々とまとまっていく過程が大変良く表れていて劇の視点もよかったです

と思います。セリフや動きにも一定の流れがあり迫力が感じられました。自分たちで創った劇であることが大変良くわかりました。この団結がドバイ日本人学校の中学部です。

放課後の学校での過ごし方について

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。さて、放課後のお子さんの過ごし方につきまして、学校では下記のように考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

記

- 1 原則として授業が終わりましたら通学バスや自家用車で下校させてください。
- 2 きょうだい放課後の活動（スポーツクラブやECエクストラなど）に参加していて、その終了を待つ場合は、保護者や代理の方の同伴と指導のもと、読書室や屋外の遊具など学校の教育活動の妨げとならない場所で過ごしてください。この場合は担任にご連絡ください。
- 3 「2」に該当しないが放課後にお子さんを残したい場合は担任にご相談ください。